

平成29年第1回議会報告会における要望事項等に対する市長からの回答

	意見・要望の概要	報告会場 【対象振興会】	担当課	回答
1	自治会で13灯の街灯をLEDに交換後、市の事業によるLEDへの交換があり、まちづくり推進課では、取り外したLEDの街灯を市で有効活用するとの回答があった。補助金を使って自治会が設置したLEDは自治会の所有物であると市長から回答いただいているが、まちづくり推進課からその後の対応がないので再度回答を求める。		まちづくり推進課	平成28年度からの防犯灯LED化に伴い、平成27年度末にすべての自治会から「防犯灯移管申請（寄付申込）書」を提出していただき、LED灯も含め、すべて市へ移管（寄付）する手続きを取らせていただいております。 取り外した灯具は、防犯灯の維持管理のために活用いたしますが、自治会独自で防犯灯を設置するなどの事情がある場合はご相談ください。
2	自動車道の下を通っている田んぼの排水のU字溝が1メートルぐらい下がっており、カルバートでなんとかもっている状態である。そのU字溝に土砂が堆積して、木なども引っかかっている。地元の水農地での対応も深く危険なため難しい。日向川土地改良区に確認したところ、農林水産課で処理をすることになっているとのことだが、予算がついていないと聞いている。早いうちに対応しないと水が流れなくなってしまうので、他の地区も含めて対応をお願いしたい。	上田コミュニティ防災センター 【上田、本楯、南遊佐、観音寺、一條、大沢、日向】	農林水産課	地元よりこの件について要望を受けており、現地を確認しておりました。カルバートの大きさから通常の重機での作業は難しいため、土砂撤去の方法を検討しております。撤去方法と費用が折り合えば実施したいと考えて、実際に作業を行える時期としては通水が終わる秋以降の対応になると考えております。
3	駅前開発における、ライブラリーでは、指定管理ではなく市の管理として、親子や多く市民が楽しめる施設になるよう、要望する。		都市デザイン課	市民ニーズの多様化や財政状況の厳しさが増している中、持続可能な自治体経営を進めながら、サービスの維持・向上していくためには、どのような手法が妥当であるか総合的に検討していきます。 なお、ご意見のとおり、当該施設は、世代の垣根なく利用していただける公共施設として整備していくものです。
4	市長にずっとコミセン改築の要望書を出し続けてきた。十坂コミセンを新しくしたいと考えているが、5年10年とかかかってしまうと地域の熱も冷めてしまうので、早目の対応をお願いしたい。一方で、少子化により1つの小学校に3つのコミュニティといった状況になっている。せっかくお金をかけて作っても10年後に合併して別に移ってしまうといったものはいけな。10年、20年といった将来を見越した学校再編や公共施設のあり方を検討してほしい。	十坂コミュニティセンター 【宮野浦学区、新堀、広野、浜中、黒森、十坂】	まちづくり推進課 企画管理課 行財政改革推進室	【まちづくり推進課】 本市公共施設適正化の考え（実施方針、長寿命化計画）や施設の状況等により、適切に判断してまいります。 【企画管理課】 学校再編については、「酒田市小・中学校の学校規模に関する基本方針」に基づき、児童数・クラス数の状況など情報共有を図りながら、地域や保護者の方々に丁寧な説明を行ってまいります。 また、黒森小学校は、既に複式学級が編制されていますが、川南地区のその他の学校についても小規模化が進んで行くことが見込まれています。 そのことを踏まえながら、今後とも、子どもたちのより良い教育環境の整備を図るため、地域や保護者の方々の理解と合意のもとに、学校再編について検討して参ります。 【行財政改革推進室】 公共施設については、平成27年3月に、本市が保有する公共施設の量・サービス・運営等の今後の方針を定める「酒田市公共施設適正化基本計画」を策定しており、本計画に基づき、中長期的な展望に立ち、経営的な視点から整備等を進めていきます。
5	大きな大会や行事の時に光ケ丘競技場の駐車スペースが少ない。駐車場等整備を検討してほしい。		スポーツ振興課	光ケ丘公園内の駐車場は約1,250台ありますが、光ケ丘地区で大きな大会がある場合や、大会が集中する際は駐車場が不足していると伺っております。 光ケ丘公園内には、現状では新たにまとまった台数の駐車場を整備するスペースが無いことから、各大会の情報を共有して、他の駐車場へ誘導することや乗り合わせをお願いするなど、限られた駐車場を相互に利用し、大会を開催していただくよう、引き続き関係団体をお願いしてまいります。
6	介護保険で総合事業を29年度に開始することとなっているが、どこのコミセンも学区もほとんど動いてない状況である。介護保険課にマニュアルを要望しているが、出てこないのと、ゼロからのスタートであり人員の確保も難しい。モデルを作ってほしい。介護保険料が値上げになっても困るし、協力したいにも、どのような協力の仕方ができるのか手探りである。	富士見学区コミュニティ防災センター 【富士見学区、泉学区】	介護保険課	各地域でのサービス構築には、介護保険課職員・第1層・第2層生活支援コーディネーター・社会福祉協議会の地区担当等がコミュニティ振興会と協力しながら進めていきます。地域差が大きいことから、統一したマニュアルだけでなく、話し合いの中で地域実情に応じた修正を行ってまいります。 訪問型サービスについては、現在、介護保険課で先進事例として紹介している地域において、運営後に生じた諸問題と総合事業移行への課題を検討しているため、その結果を盛り込んだ上で標準化された事業のマニュアルを作成する予定です。 一方、通所型サービスについては、既に3地区で実施されていますが、いずれも成文化されたマニュアルもなく行われています。運営方法は、これまでコミュニティ振興会や地域の諸団体で行ってきた各種教室に工夫を加えて行っているため、このためのマニュアル作成の必要はないものと考えています。